

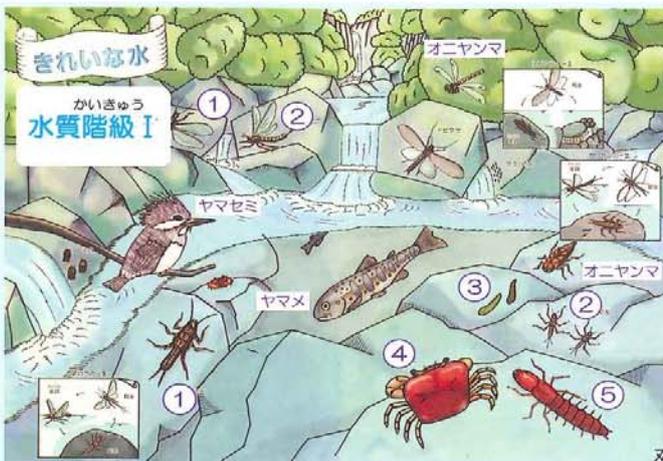
# 水生生物による水質調査



## 水生生物からわかる川の水質

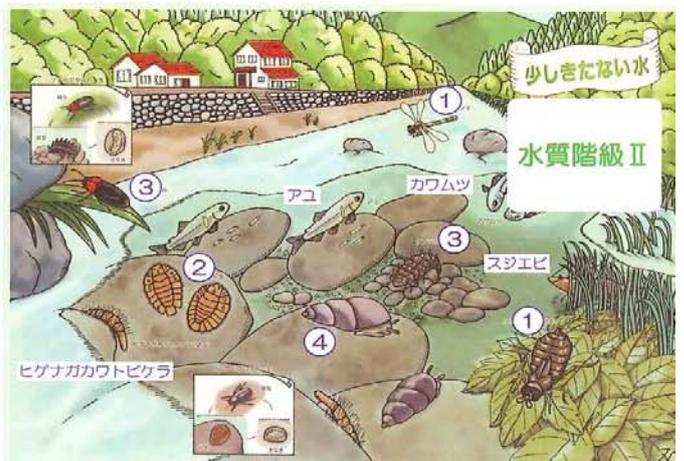
水のごれ方により、そこにすんでいる生きものの種類は違ってきます。「水生生物による水質調査」はその性質を利用し、その川にすんでいる生きものの種類を調べることで、その場所の水質を判定する調査です。水のごれぐあいをあらわす生き物を、「指標生物」といい、この指標生物がどのくらいすんでいるかにより、その水質を4段階の水質階級にて表します。この調査は、高価な機材などを必要としないこと、川とふれあいながら調査できることなどが特徴です。

I (きれいな水) II (少しきたない水) III (きたない水) IV (大変きたない水)



水は透明で、川底まで見え、みなさんが川の中に入って遊びたいようなところです。川底には石がたくさんあります。また、川岸には植物があり、日陰もあります。

- 主な指標生物  
①カワゲラ ②ヒラタカゲロウ ③ウズムシ ④サワガニ  
⑤ヘビトンボ



周りに田んぼがあって、水がやや濁っているようなところです。川の中の石を持ち上げるとたくさんの生きものを見ることがができます。

- 主な指標生物  
①コオニヤンマ ②ヒラタドROMシ ③ゲンジボタル  
④カワニナ



排水路が川につながっていたり、周りには多くの人家が見られたりするようなところです。川底は泥っぽくなっています。

- 主な指標生物  
①ヒル ②ミズムシ ③ミズカマキリ ④タイコウチ



周りには工場なども多く、人がたくさん住んでいるようなところです。川岸が壁のようなコンクリートでつくられていたりします。川の水は灰色っぽく濁り、ゴミなどがたまりやすくなっています。

- 主な指標生物  
①アメリカザリガニ ②エラミミズ ③セスジユスリカ  
④サカマキガイ